

虎の門病院分院 腎センター内科に  
過去に通院された患者様へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

「遺伝性 $\beta$ ミクログロブリン アミロイドーシスにおける変異アミロイド蛋白の解析」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医倫理委員会の承認を受け、本病院長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	TR19
研究課題名	遺伝性 $\beta$ ミクログロブリン アミロイドーシスにおける変異アミロイド蛋白の解析
所属(診療科等)	虎の門病院 腎センター内科
研究責任者(職名)	長谷川詠子(部長代行)
研究実施期間	2022年11月30日～2026年11月30日
研究の意義、目的	遺伝性 $\beta$ ミクログロブリン アミロイドーシスにおける変異アミロイド蛋白の特徴を明らかにすることを目的とした研究で、病態解明に貢献すると考えられます。
対象となる方	2015年1月から2017年12月の期間に虎の門病院分院で遺伝性 $\beta$ ミクログロブリン アミロイドーシスについて医療を受けられた方
利用する診療記録/検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など/生検組織
他機関への試料・情報の提供方法	郵送、電子的配信により提供します
研究方法	過去にアミロイドーシスの診断目的で生検された組織検体から、アミロイド蛋白を抽出し、生化学的・構造学的特徴について解析します。
共同研究機関名	信州大学(責任者:矢崎正英)、英国リーズ大学(責任者:宗正智)、京都府立医科大学(責任者:草場哲朗)、東京都医学総合研究所(責任者:亀谷富由樹)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学バイオメディカル研究所 研究責任者:矢崎正英
問い合わせ先	氏名(所属・職名):長谷川詠子(虎の門病院 腎センター内科、部長代行)電話:03-3588-1111

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、共同研究機関である信州大学と英国リーズ大学に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。